

話法で報告する (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: インタビューで聞いたことを、伝達動詞を選びながら報告できる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

I asked my grandmother what she had wanted to be at my age.

祖母に、私くらいのころ何になりたかったのかたずねた。

She told me that she had dreamed of becoming a nurse.

祖母は、看護師になるのが夢だったと話してくれた。

She also advised me not to decide everything too early.

そして、何もかも早く決めすぎないようにと助言してくれた。

型で書く 型で書く—たずねたこと・聞いたこと・助言されたこと 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、節の中がS+Vになっているかと否定の not の位置だけをチェックし合おう。気づき: (3)の伝達動詞を told に替えると助言が指示に聞こえます。動詞I語で、受け取り方まで伝わります。

(1) I asked _____ what _____. だれかにたずねたこと

(2) _____ told me that _____. その人が話してくれたこと

(3) _____ advised me (not) to _____. 助言されたこと

ペアで話す ペアで話す—インタビューして、別の人に報告する

2分ペアでインタビュー→相手を替えて、さっきの相手について間接話法で3文報告する。報告のときは名前を主語にすること。気づき: 報告に移った瞬間、I が he / she に、now が then に変わります。

(1) What did you want to be when you were in elementary school?

小学生のころ、何になりたかった?

(2) What is the best advice you have ever received?

今までにもらったいちばんいい助言は?

(3) Is there anything you want to start this year?

今年始めたいことはある?

(4) What would you tell your future self?

未来の自分に何と言う?

あいづち・返しの型: That's interesting. Tell me more. Why? I see. Same here.

書く

自分の番—60語前後で書く

思考・判断・表現

Report what you heard in the interview. (インタビューで聞いたことを報告する)

①だれに何をたずねたか (I asked ... what / if ...) ②その人が答えたこと (told me that ...) ③その人がすすめたこと・頼んだこと (advised / asked me to ...) ④自分がどう思ったか—の4段で、60語前後。伝達動詞を3種類以上使う。

評価

先生はここを見ます (加点式)

伝達動詞を3種類以上、形を正しく使えている	+4点
人称と時制が、報告している自分の位置にそろっている	+3点
自分にしか書けない具体がある (だれに・いつ・どこで)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ